

## 謹弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

大淵 晃 氏 下関市医師会 12月28日 享年 96

五十嵐 久二 氏 下関市医師会 1月3日 享年 63

## 後記 編集

知り合いから、近日中に絶対負けられない戦い（受験のことですね）がある、との報告を受けた。そのため、近くのお寺にお参りに行ってきた。

勝利（合格）に関連する複数のお守りを購入した時、ふと、おみくじが目に留まった。自分はおみくじはあまり引くほうではない。なぜなら、お参りに来て、最後に「運勢」が悪いと、ずっと気になってしまうからである・・・などとしばらく考えていたが、結局1枚引いた。

①中吉。かなりいい。が、ベストではない。この結果を持ち帰ってよいのだろうか。

もっと良い結果を持って帰った方が良いのではないか。2枚くじを引くことは通常ないが、どうしようか。だいぶ迷ったが、やはり2枚目を引こう。

②小吉。あまりよくない。迷うことなく3枚目を引こう。

③小吉。あまりよくない気がする。流れが悪いので、2日後にもう一度、出直すことにした。

翌々日、通算4枚目。

④大吉。待ってたよ。本文もじっくり読んでみよう。

「心をかたくもって 一時の不運にあわて騒ぎ思い迷うてはいけません 本業をよく守って静かに時の来るのを待ちなさい 開運うたがいありません」

大吉が出たことだし、通常多くの人は、ここで手打ちとすると思うが、「4枚目」で終了することになにか引かかるものがあったので、ダメ押しに5枚目を引くこととした。

⑤大吉。

「何事も心を正直に強く持ち 物事に退屈せず信心怠らず努めれば 時至りて後には大いに仕合せよくなります 騒がず時を待ちなさい」

→4枚目とほぼ同様である。少々のことでは騒がず頑張ろう。

さて、ここまできて、考えた。おみくじには日頃実践すべき、とてもありがたいことが書かれてあった。私は受験する本人ではないが、これからこれらを実践しようとするだろう。

だが、他人が引いたくじと言うのは、受験する当の本人には良い結果をもたらすものなのだろうか。

家に帰った。気分を変えて、m3.comを読むことにした。今日は面白そうな記事があるかな。ん？なになに、医師会批判がいろいろ書いてあるぞ（見たくはないが、目に飛び込んでしまう）。やれやれだよなあ、と思いかけたが、ついさっきありがたい言葉を読んだばかりではないか。この程度のことでは心騒がしくなるようではいけない。

まだまだ自己研鑽が必要なのである。

（理事 藤原 崇）